二〇一五年六月一九日

晨朝の大和三山夏霞　明日香

破れたる翅で縋りぬ梅雨の蝶　豆狸

梅雨晴れ間籠一杯の畑の幸　よし女

蛍火を包む幼のたなごころ　さつき

大樟の根方の殊に濃紫陽花　さつき

メロン付く明日退院のデザートに　はく子

二〇一五年六月一八日

恙なき日々願ひつつ梅漬ける　菜々

二〇一五年六月一七日

十薬の花に埋もるゝ一羅漢　豆狸

坂がかる芦屋の家並風薫る　菜々

小康の夫を連れ出し蛍狩　うつぎ

二〇一五年六月一六日

白壁の鉄砲狭間蔦茂る　泰山

村中が植田となりし日曜日　よし女

十薬の大群落や深山道　豆狸

二〇一五年六月一五日

万緑や祖谷の吊橋一歩づつ　宏虎

せせらぎの右に左に恋蛍　豆狸

梅雨最中糠床手入れ怠らず　菜々

足跡の凹み残りし植田かな　さつき

二〇一五年六月一四日

大噴水メタセコイアと秀を競ふ　はく子

梅雨しとど地蔵は厚き苔ごろも　菜々

二〇一五年六月一三日

泣き疲れ昼寝の嬰のへの字口　なつき

水満ちて溺れそうなる早苗かな　明日香

毎日句会みのる選・二〇一五年六月二一日